

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第11号
平成20年12月15日発行
発行:千葉県がんセンター

理 念

心と体にやさしいがん医療

患者さんの視点に立って、
患者さん本位の医療を、
患者さんとともにを行います。

県立病院としての千葉県がんセンターの役割

事務局長 吉田裕三郎



千葉県がんセンターは、昭和47年11月に日本で3番目に開設されたがんセンターです。開設当時は病床数200床で、昭和48年度当時の新規入院患者数は1,005人、新規外来患者数は2,817人、手術件数は736件でした。現在は

341床で、平成19年度の新規入院患者数は6,813人、新規外来患者数は5,793人、手術件数は3,374件となっており、何倍もの患者さんの治療ができるようになっています。

千葉県には県立病院が8病院ありますが、がんセンターなど多くが特定の目的を持った高度専門病院であることが他の都道府県と異なる特徴です。指定管理者のハビリテーションセンターを除く県立7病院は、県の外局である千葉県病院局として運営管理されています。県立病院では、高度専門病院の特色を生かし、連携して初期・後期の医師臨床研修による医師育成にも努めており、がんセンターはその管理型研修病院になっています。

平成19年4月に「がん対策基本法」が施行されました。千葉県でも平成20年4月に「千葉県がん対策推進計画」を策定し施策の推進をしていますが、千葉県がんセンターは都道府県がん診療連携拠点病院として、その中心的な役割が期待されています。

また、平成20年4月に千葉県保健医療計画が策定さ

れましたが、その中で県立病院の役割が明確にされています。千葉県がんセンターは医療の最後の砦として先進高度ながん治療の提供や研究・開発の機能を担っていくものとされています。

千葉県がんセンターは、心と体にやさしいがん医療の提供を基本理念として、クリニカルパスを活用し、多くの患者さんの受入れと医療の質の向上に努めています。治療の必要な患者さんに、少しでも早く、多くの患者さんに良質の医療を提供していくことが最も有効ながん対策であり、県立病院としての使命と考えています。

また、施設が老朽化する中で制限はありますが、患者さんのアメニティの向上に努めています。患者相談支援センターや患者さんのための図書館である「にとな文庫」など、患者さんが安心して病院生活できるようお手伝いをしています。特に、千葉県がんセンターでは、患者さんの食事には満足いただいていると思っています。

地域がん診療連携拠点病院等を通じて県全体の医療のレベルアップを図り、多くの県民の方に良質ながん医療を提供していく役割を果たすためには、千葉県がんセンター自身の医療の質の向上と研究の推進が必要であり、そのためには人材の育成・確保が重要です。さらに、その人材等を最大限に有効に活用できるよう、老朽化した施設の改修・増築等の整備もこれからの重要な課題です。これからも、県民の皆さんの声を聞きながら良質な医療の提供に努めていきたいと考えています。

研究の現場から

「千葉県バイオバンク・ゲノムコホート」研究事業 一 体質と遺伝子から県民の次世代健康づくりを目指す 研究局 李 元元

急

速に少子高齢化社会を迎え、がんを含む生活習慣病の予防対策が緊急の課題となっています。

そこで、千葉県では一人ひとりの体質や生活習慣を考慮し、その状況の違いに応じた疾病罹患の予防および適切な治療を享受することを目標とし、県民の健康・福祉・医療の質の向上を目的とした千葉県大規模コホート研究事業を平成20年度から長期展望にたって展開することとなりました。千葉県がんセンター研究局は千葉県衛生研究所と連携して、その根幹をなす千葉県バイオバンク・ゲノムコホート研究事業の計画立案と実施を担い、最終的に千葉県民30万人以上を30-50年にわたって追跡調査することにより、遺伝的多型に基づく個人の体質とがんを含む生活習慣病の関係を明らかにし、その成果を県民および広く人類の健康福祉向上のために還元することを目標とします。さらに、体質と遺伝子・生活習慣と疾病の関連性を解明することにより、次世代の健康づくりに貢献することが期待されます。

本年は、初年度事業として、「千葉県バイオバンク・ゲノムコホート」研究事業を構築するための意識調査を中心とした先行調査を行っています。市原市保健センタ

ーでは県民保健予防財団による特定健診の受診者に対して、飲酒、喫煙および肥満とそれぞれ関係があることが分かっている遺伝子ALDH2、GSTM1およびADRB3の多型解析を用いた体質調査とその成果還元についての意識調査（同意取得時のアンケート調査）を行いました。その結果、説明を受けた480名の対象者のうち、アンケート調査に協力して頂いた方は459人(96%)であり、血液の提供に同意した方は450人(94%)でした。現在、三つの遺伝子型の解析が進行中です。また、遺伝子型の解析結果を研究協力者に返す際に、二回目の意識調査（結果返却時のアンケート調査）も行う予定です。体質検査結果を知る前後の意識調査により、遺伝子情報を個人が知ることは是非、社会的効果等について、県民の認識や意識を把握することを目的とします。

市原市での先行調査の風景



健診会場待合室の風景

先行調査の説明

最後の書類照合



健診の受付

先行調査の説明会場

先行調査に参加したスタッフとボランティア

「第3回 患者さん勉強会」

10月20日に抗がん剤治療に関する患者さんのための勉強会が行われました。

日頃、抗がん剤治療中の患者さんやご家族から食事に関する質問やご相談が多いことから、第3回目となる今回は「化学療法中の栄養管理」をテーマとしました。栄養サポートチームの實方由美副看護部長が、栄養バランスや味覚障害について、便秘、悪心嘔吐のメカニズムや予防法、生活の工夫などについて講演をしました。また、補助食品の試食、看護師や栄養士による個別相談も行いました。17名の参加者からは、便秘のメカニズムや総カロリーや食事量の目安が分かりやすかった、個別相談が出来てよかったと好評でした。

勉強会の内容はホームページからダウンロードできますので、是非ごらんください。患者相談支援センター 米須 貴子



PET/CT が稼働します

平成21年2月からPET/CT検査を開始します。千葉県がんセンターで稼働するPET/CTはこれまでのPET/CTに比べ撮像時間が大幅に短縮され（従来は30～40分かかりました）全身のPET撮像を10分～15分でできるのが最大の特徴です。撮像時間が短いため、患者さんは苦痛なく検査をうけることができます。また、安静にしている時間が短いので体動が少なく画質も大幅に向上します。この最新型のPET/CT装置は東日本初の導入であり、がん診断に威力を発揮することが大いに期待されています。申し込み方法など詳細はホームページに掲載予定です。また「PET/CT検査のご案内」というパンフレットを地域医療連携室から関連施設へ郵送させていただきます。（核医学診療部 戸川貴史）



看護の現場から

「がんサポートチームの活動紹介」

がん看護専門看護師 笠谷 美保

がんサポートチームは、緩和医、精神科医（非常勤）、看護師、臨床心理士、薬剤師、MSW、理学療法士、作業療法士、管理栄養士によって構成された、緩和ケア支援チームです。

一般に、がんの痛みは全人的苦痛（Total pain）として、身体の痛みだけではなく、心の痛み、社会的な痛み、霊的（spiritual）な痛みを伴うといわれています。例えば、痛みや吐き気といった症状を和らげるときに、その背景にある心配事や経済的な不安なども含めて解決方法を検討することが大切になります。がんサポートチームでは、毎週水曜日の午後にメンバーが集まり、様々な職種の視点を出し合って問題解決のためのカンファレンスを行います。その後、ご入院中の患者さんを訪問して困っている症状などをうかがい、病棟のスタッフと相談しな

がら問題解決を目指してかかわります。複雑にからんだ悩みの糸をほぐし、解決に適した専門家がかかわることによって、患者さんの抱える苦痛が楽になることが活動のねらいです。

チーム内や病棟との調整は、主に3名の看護師が担当しています。私が取得したがん看護専門看護師という資格の機能の中にはコンサルテーション（相談）、調整、教育があります。チームでの活動は、これらの機能を活かしてさまざまなスタッフ、患者さんやご家族とかかわれる貴重な機会です。大切な患者さんを看取る辛さは、家族だけではなくケアを担う病棟のスタッフも感じています。そこで、スタッフが精神的な疲労を溜め込まないように支えることも、行われているケアの効果を客観的に伝えることも大切な役割だと感じています。昨年度は、全スタッフを対象にアンケートによるニーズ調査を行いました。チームの活動評価をもとに体制を見直し、さらに要望の高かった内容を今年の研修会の企画に反映させることで、院内全体の緩和ケアがより一層充実するように努めています。

第2回 千葉がん国際シンポジウム報告

第2回千葉がん国際シンポジウムは、平成20年11月22日（土）ウェルサンピア千葉で開催されました。海外からもがん治療の第一人者を招き、低侵襲外科手術をテーマ（ビデオセッション）に「すい臓がんの腹腔鏡下手術」についてウェイン州立大学のMichael Jacobs氏が、化学療法と分子標的治療をテーマに「中国における胆のうがんの化学療法」について中国医科大学の田忠氏が、さらに免疫療法をテーマにクイーンズランド大学のAndrew Nicol氏が講演し、各セッションにおいて活発な討論が行われました。

また、イブニングセッションでは、Janine Kokal氏が、サポータティブケアと患者教育をテーマに、メイヨークリニックがんセンターでの取り組みについて発表し、メイヨークリニックがんセンターと千葉大学及び千葉県がんセンターの比較が行われ、今後の取り

組みについて有意義な意見交換が行われました。

当日は、延べ200名近くの参加者が熱心に講演を聞き、様々な意見交換を行いました。また、アンケートを実施し、多くの方から回答をいただきました。「今日の学びを臨床に生かしていきたい」などのご意見をいただき、関心の高さが伺えました。



平成20年度 県民公開 セミナー 報告

今年で7回目を迎えた県民公開セミナーは「心と体にやさしいがん医療」をテーマに平成20年10月25日(土)JR千葉駅ビルペリエ大ホールで開催され、「わが国におけるがんの動向と対策」国立がんセンター祖父江友孝がん情報・統計部部長、「乳がんに対するラジオ波治療」山本・乳腺外科部長、「肺がんに対する胸腔鏡視下手術」飯笹・呼吸器外科部長、「肛門機能温存手術について」滝口・臨床検査部長、「大腸がんに対する腹腔鏡視下手術」早田・消化器外科主任医長の5講演が行われました。

当日は、秋晴れの中、260名を超す聴講者が熱心に講演を聞いておられました。木村医療局長を司会に、様々な意見交換が行われました。

また、131名からアンケートの回答があり、関心の高さが伺え、「手術の映像は貴重だった」「部位別の話は参考になった」等様々なご意見をいただきました。



平成20年12月1日現在の外来診療担当一覧です。

外来診療担当医表

診療科	曜日	月	火	水	木	金
センター長外来			電		電	
消化器外科		永田 趙 島田 池田	山本(宏) 早田 郡司	滝口 貝沼 郡司	永田 滝口 趙	山本(宏) 貝沼 早田
消化器内科		山口 傳田	傳田 須藤	山口 傳田 (第2,4)原 (第1,3,5)中村	傳田 原	中村 (第1,3,5)須藤
腫瘍血液内科 (外来化学療法科)		高木 熊谷 伊勢	酒井(カ) 辻村 三村	酒井(カ) 熊谷 三村	熊谷 伊勢	酒井(カ) (AM)熊谷 辻村
整形外科		館崎 米本 (PM)萩原	石井 竹内	館崎	館崎	館崎 石井 (PM)装具外来
乳腺外科		矢野 前田 山本(尚)	吉井 山本(尚)	矢野 藤本 山本(尚) 吉井	吉井 山本(尚) 藤本	矢野 藤本 前田 吉井
皮膚科				(PM)岩澤		
呼吸器外科		木村 飯笹 中島		木村		木村 飯笹 石川
呼吸器内科		新行内	新行内 板倉 西村	新行内 板倉	新行内 板倉 西村	新行内
(アスベスト専門外来)					新行内	
頭頸科		土井 (新患のみ)	土井 浅野 野畑		土井 浅野 野畑	
泌尿器科		植田(新患) 今村	植田(新患) 丸岡 浜野	丸岡(新患) 深沢	深沢(新患) 丸岡 佐塚 植田	丸岡(新患)
婦人科		(AM)錦見 (PM)田中	田中 大崎 鈴鹿 錦見	大崎	田中 大崎 鈴鹿 錦見	鈴鹿
脳神経外科		(PM)井内		井内 堺田		(AM)堺田
緩和医療科		渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下
歯口科			(AM)鷗澤			
放射線治療部		幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍	幡野 酒井(光) 荒木 今輩倍
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津
内視鏡検査		原 須藤	山口 中村	須藤 中村/原	山口 中村 松本/宮崎	山口 傳田 原 須藤
超音波検査		中村	原 (菊池)		須藤 (菊池)	当間/松本 椎名
心臓超音波検査				(PM)佐藤		
消化器X線検査				当間/松本 椎名		
緩和医療センター		渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)	渡邊(敏)

外来受付時間 午前9時～午前11時
診療時間 午前9時～午後5時

予約センター
TEL.043(264)5431 内線2311
2318
2527

※医師の都合により休診・変更の場合があります。
※歯口科、皮膚科は、当センター患者様のみ受診可能です。



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

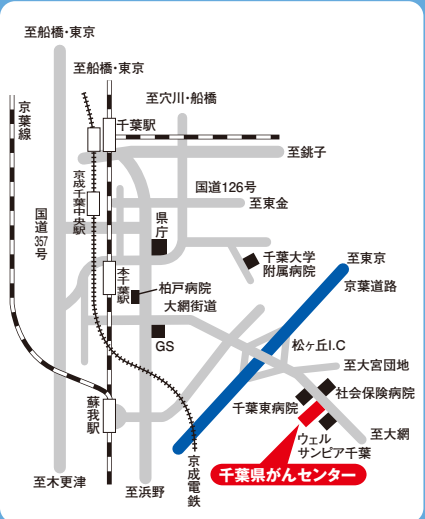
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<http://www.chiba-cc.jp/>